

# 組織変革推進委員会

担当副理事長 大村 猛

委 員 長 前田 健吾

副 委 員 長 角谷 知洋

副 委 員 長 北川 将成

## 《基本方針》

アフターコロナへの転換期を迎え、人と人との交流が再び盛んに行われるようになり、特にこの MAK 地域は北陸新幹線の延伸に伴う新駅開業など「ワクワク」する事業を多く控え、官民一体となった機運醸成への動きが加速しています。我々は「明るい豊かな社会」の実現という大きな目的に向け、またこの MAK 地域の未来を担う若者として、その先頭となって歩を進めねばなりません。

まずは、MAK・JC の理念を広く知って頂くことを意識し、「ワクワク」するような MAK・JC の魅力を発信することで共感する若者の輪を広げ、MAK・JC の存在意義を市町に波及させます。そして、理念に共感した若者たちには「まちづくり」や「自己研鑽」を始めとした機会の提供が重要であり、全体ではなく個にフォーカスを合わせた適切なアプローチを行うことで、正会員を始めとした会員拡大を行います。さらに、MAK 地域の未来には自発的に行動する人財の育成が急務であり、JC プログラムを始めとした多くの成長の機会をメンバー全員に提供することで、各個人が自己の課題と向き合い成長する場を提供します。また、チームの組織力強化を図るために、フォローシップに着目することで、人と人が互いに支えられる絆を重要視し、メンバーのやる気を最大限に引き出し自立型人財の育成に寄与します。

会員の減少に歯止めがかからない今、我々委員会に課せられた使命は重大であると考え、理事長が体現する「ワクワク」する MAK・JC への進化と「ワクワク」する MAK 地域の実現に向け、会員の早期拡大と自己の発展と成長の機会を提供し、55 周年に向けた組織変革の基盤構築を実現します。

## 《運営方針》

1. 各委員会と協力し MAK・JC の運動、魅力を発信していきます。
2. 理念共感と対話に重きをおいた会員拡大を実施します。
3. 発展と成長の機会となる事業を実施します。

## 《事業計画》

1. MAK・JC の魅力を発信するツールの開発(通年)
2. 会員拡大の実施(通年)
3. 会員開発の実施(5 月)

## 《事業予算》

1. MAK・JC パンフレット制作	¥80000 円
2. 会員拡大に関する事業の実施(3 月)	¥10000 円
3. JC プログラムの実施(5 月)	¥10000 円
合 計	¥100000 円